

XTOOL selected

エアドライヤー



クイックガイド

内容物一覧 ----- 01

エアドライヤーについて ----- 01

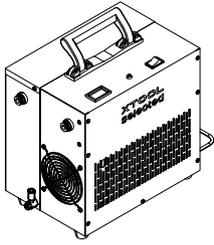
接続 ----- 03

装置の使用方法 ----- 05

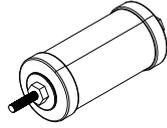
メンテナンス ----- 06

よくある質問 ----- 12

内容物一覧



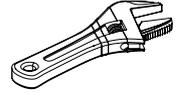
エアドライヤー



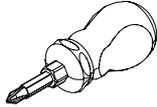
フィルターエレメント1



フィルターエレメント2



レンチ



ドライバー



管 3m



排水チューブ 2m



クイックガイド

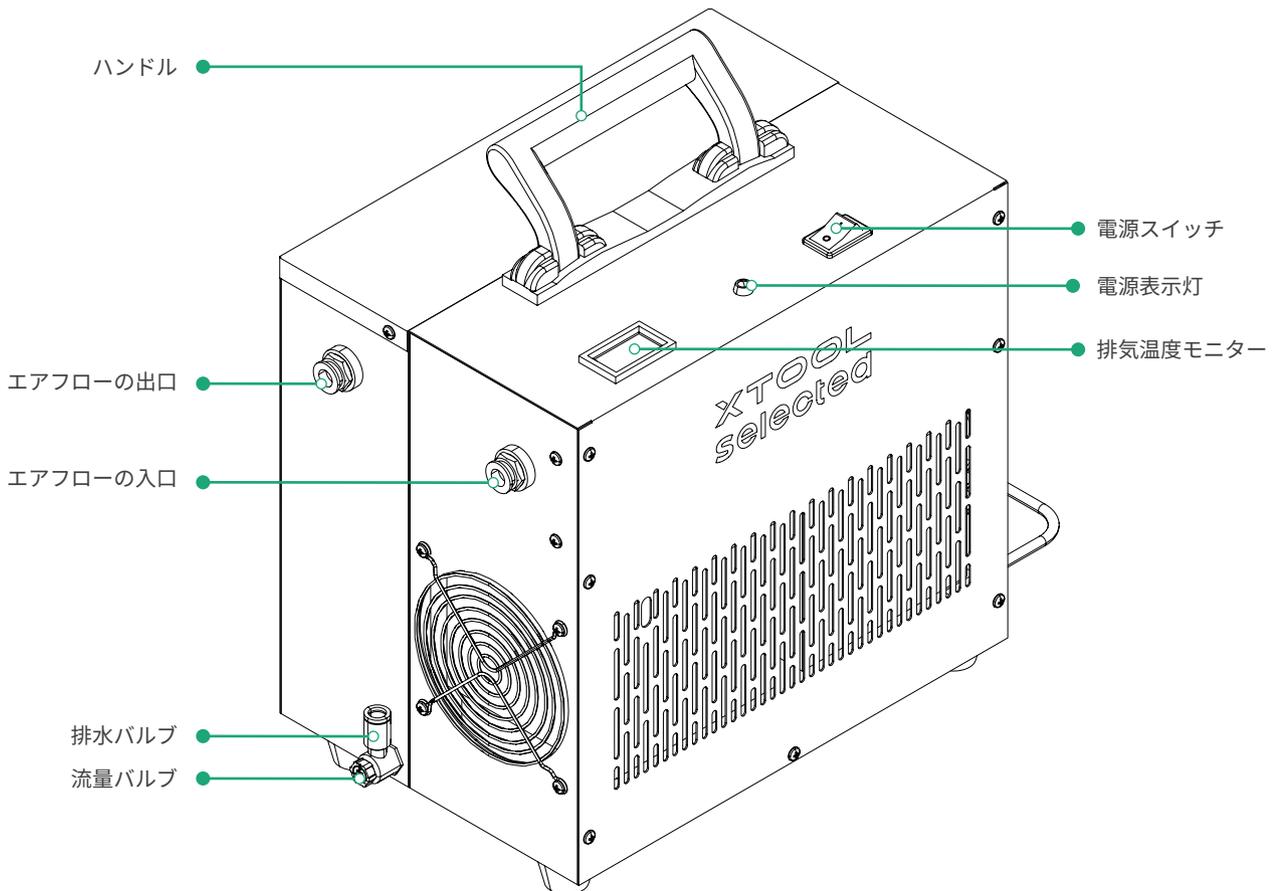


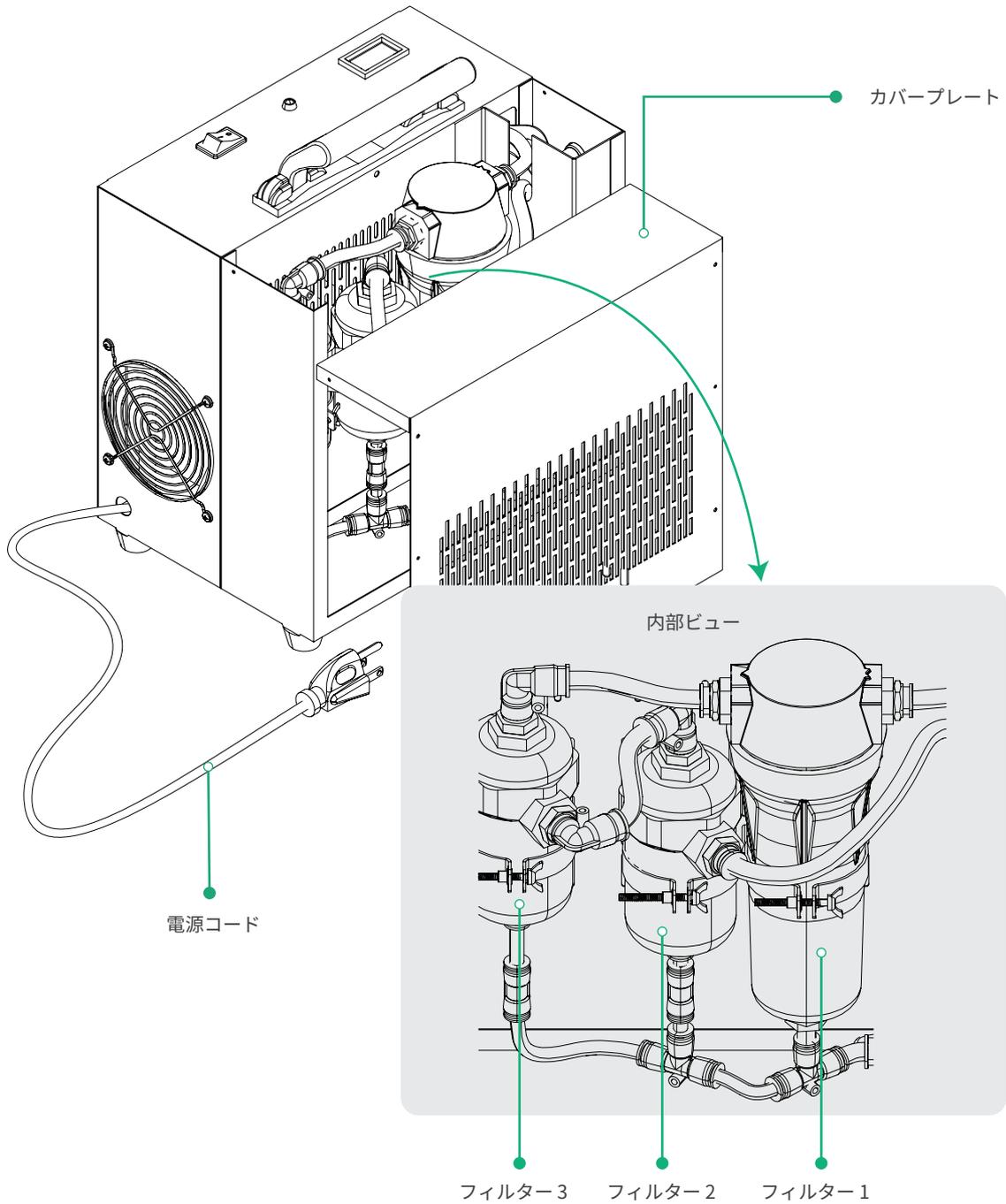
安全上のご注意



電源ケーブルは、製品が出荷される地域によって異なります。

エアドライヤーについて





製品仕様

モデル	体積流量 (L/min)	作動圧力 (MPa)	電圧 (VAC)*	定格出力 (kW)	A空気入口温度 (°C)	重量 (kg)	寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) (mm)
NP3-5AC	400	1.0	米国/日本: 100~120 EU/英国/オーストラリア: 200~240	0.45	≤45	12.1	402 × 355 × 227

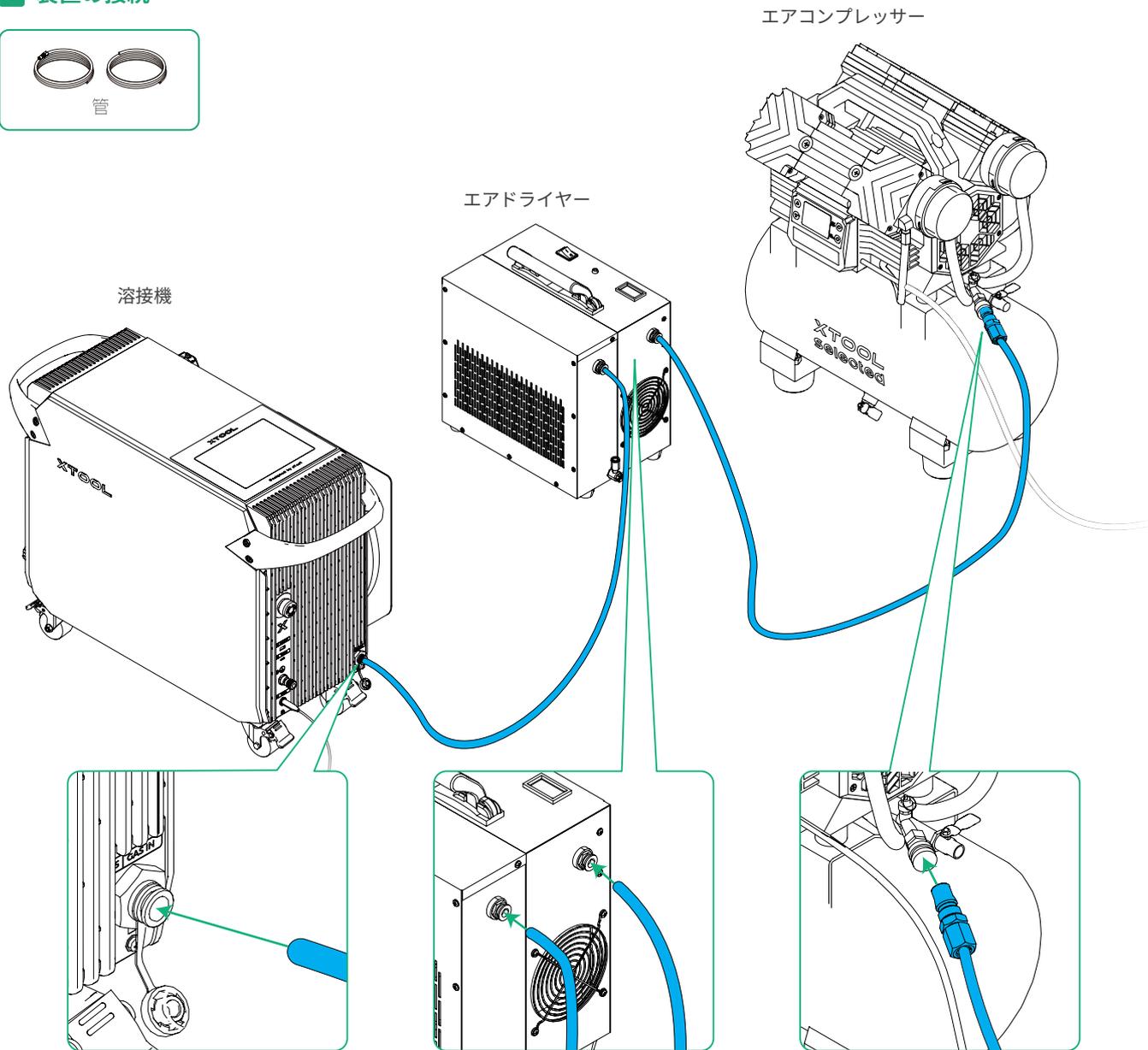
* その他の国または地域：銘板の表示を確認してください。

接続

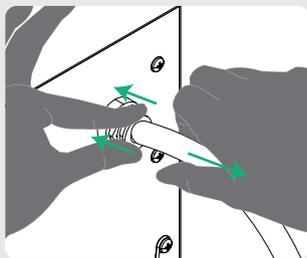


エアドライヤーはエアコンプレッサーと一緒に使用するよう設計されているため、このマニュアルにはエアコンプレッサーの操作手順も含まれています。エアコンプレッサーの部品はパッケージから取り出してください。

1 装置の接続

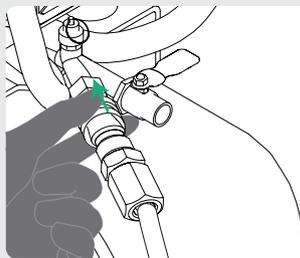


チューブの取り外し



エアドライヤー

- コネクタのコレットを押してチューブを引き抜きます。



エアコンプレッサー

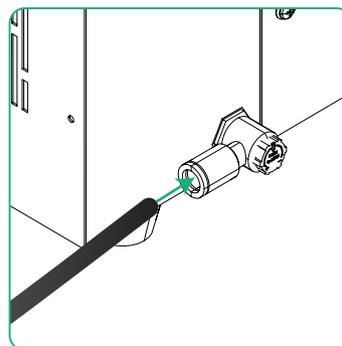
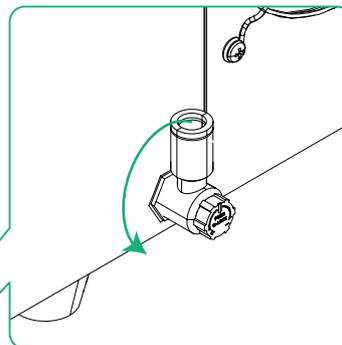
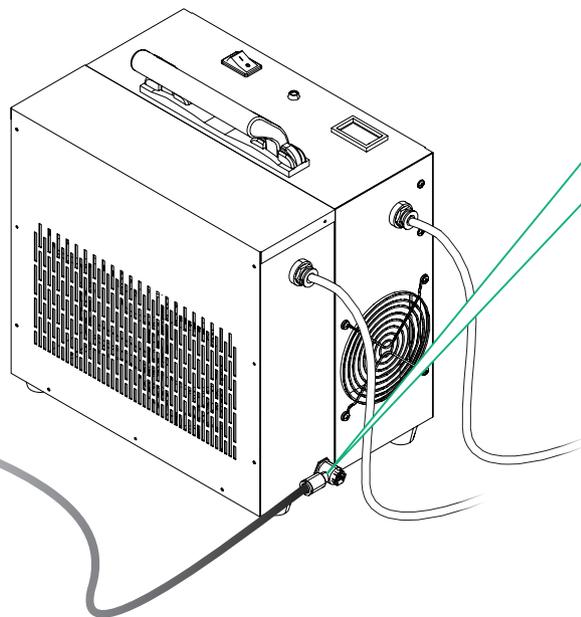
- コネクタのリングを押すと、チューブが自動的に飛び出します。

2 排水チューブを接続する



排水チューブ 2m

- 排水チューブを排水バルブに接続し、チューブを廃水処理エリアへ導いてください。



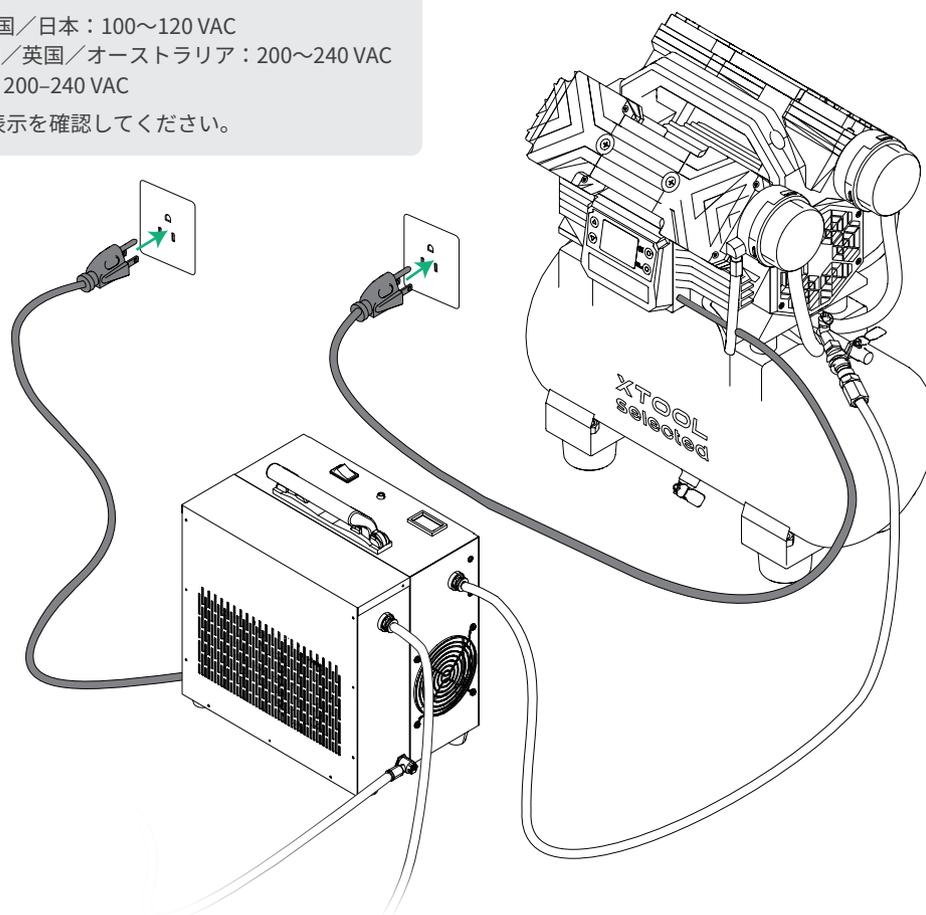
3 電源への接続



電圧要件：

- エアドライヤー： 米国／日本：100～120 VAC
EU／英国／オーストラリア：200～240 VAC
- エアコンプレッサー：200～240 VAC

その他の国または地域：銘板の表示を確認してください。

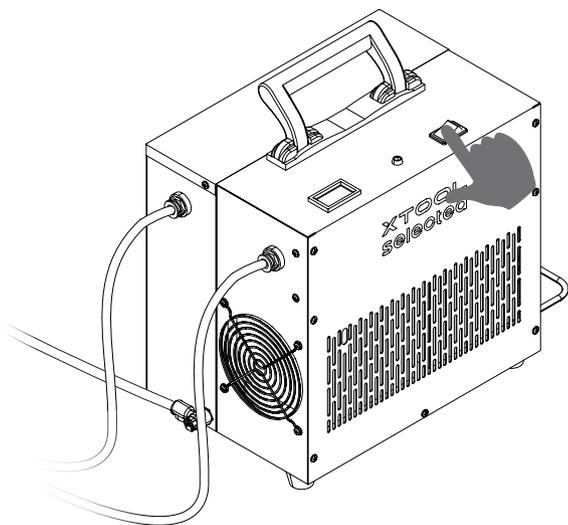


装置の使用方法

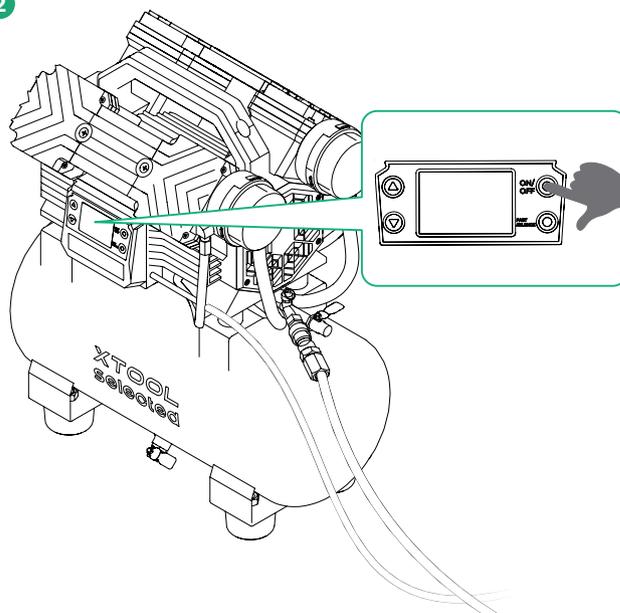
1 電源オン

- まずエアドライヤーの電源を入れ、その後エアコンプレッサーの電源を入れます。

1



2

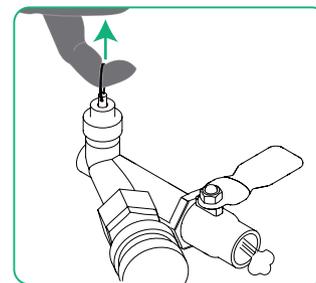
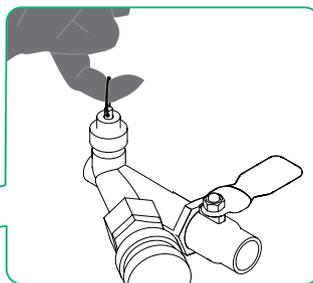
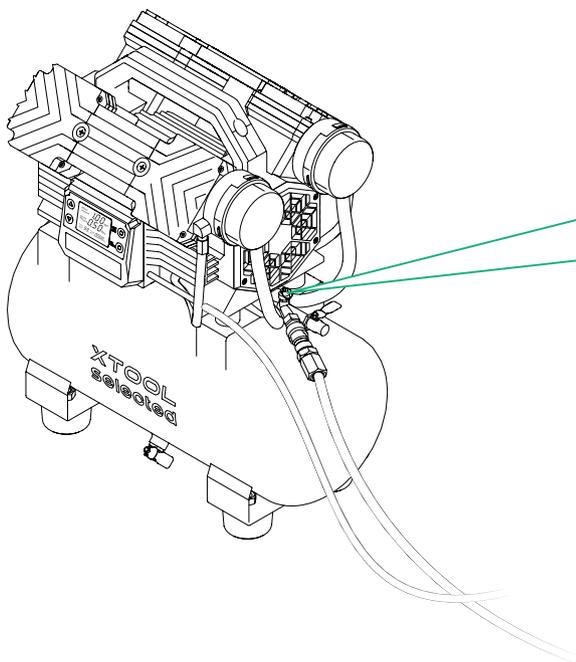


危険

動作中は本機器の上部が熱くなります。
機器の停止中や停止直後は、機器に触れないでください。

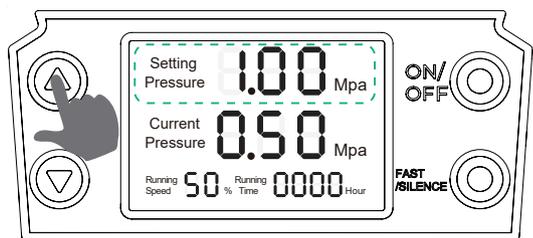


2 エアコンプレッサーの安全弁を点検する



- 安全弁のリングを引いてガスの放出を確認します。ガスが出ていれば、エアコンプレッサーは正常に動作しています。

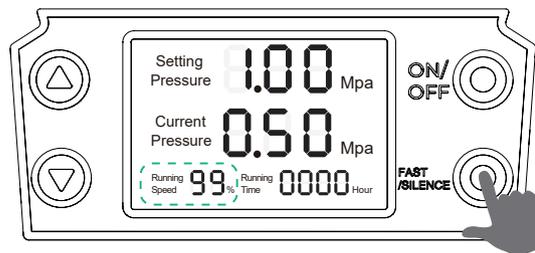
3 圧力を設定する



圧力範囲：0.3～1.0 MPa
推奨圧力：1.0 MPa
上ボタン：1回押しごとに+0.05 MPa
下ボタン：1回押しごとに-0.05 MPa

エアコンプレッサーは、空気圧が設定値に達すると自動的に停止します。排気後、圧力が設定値より0.2MPa下回ると再び作動を開始します。

4 速度モードを切り替える



「FAST/SILENCE」ボタンを押して動作速度を切り替えます。速度が99%の場合は高速モード、50%の場合は低速モードを示します。

推奨モード：FAST

- エアコンプレッサーの現在の圧力が安定したら、溶接機の操作を進めることができます。



エアドライヤーとエアコンプレッサーを停止するには、まずエアコンプレッサーをオフにし、次にエアドライヤーをオフにします。

メンテナンス

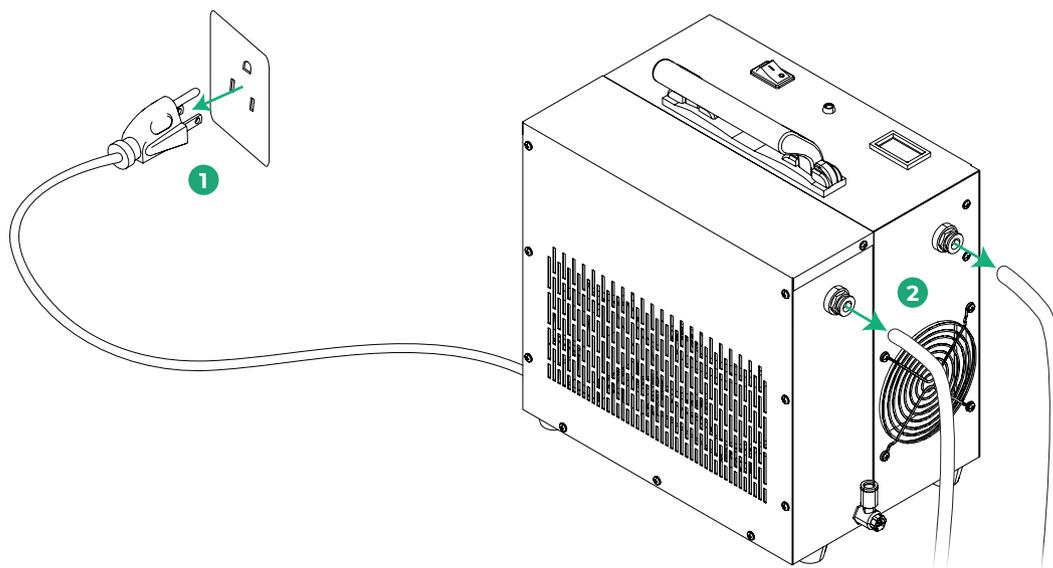


メンテナンスを行う前に、電源を切断してください。

フィルターエレメントを交換してください

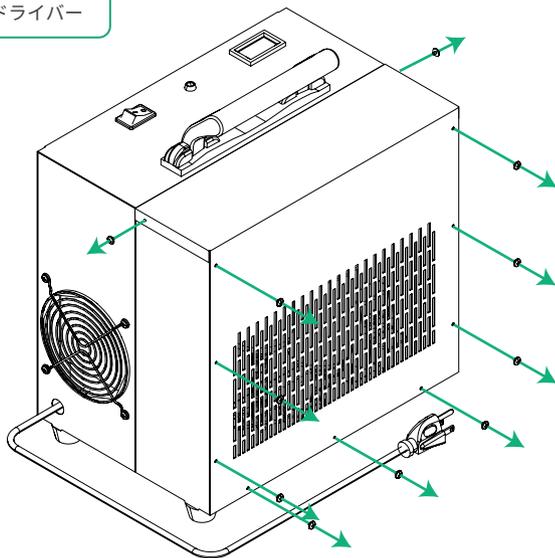
長時間使用すると、エアドライヤーのフィルターの性能は汚れの蓄積により低下する場合があります。フィルターエレメントを適時に交換する必要があります。

1 電源を切断する

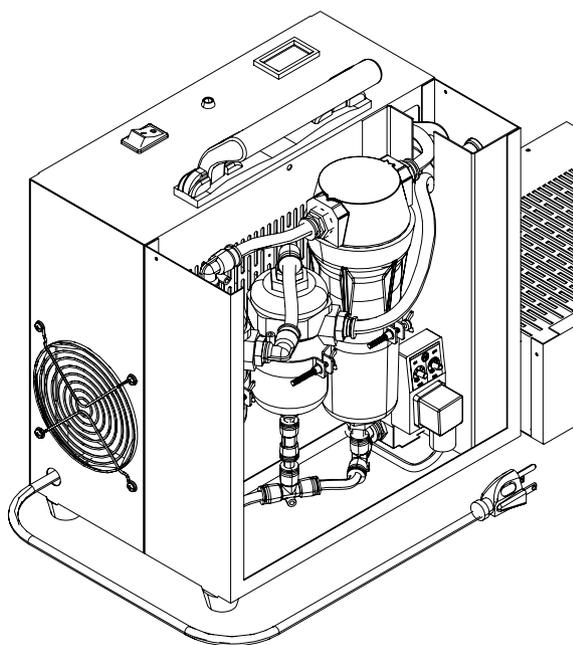
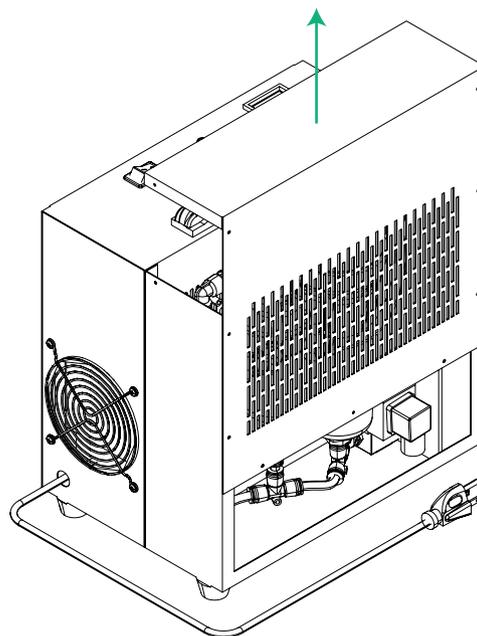


2 カバープレートを取り外す

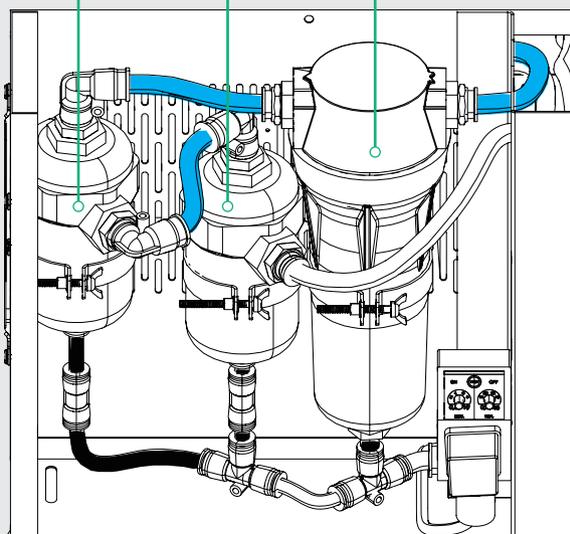
(1) ネジを外す



(2) 上方へ引き上げてカバープレートを取り外す



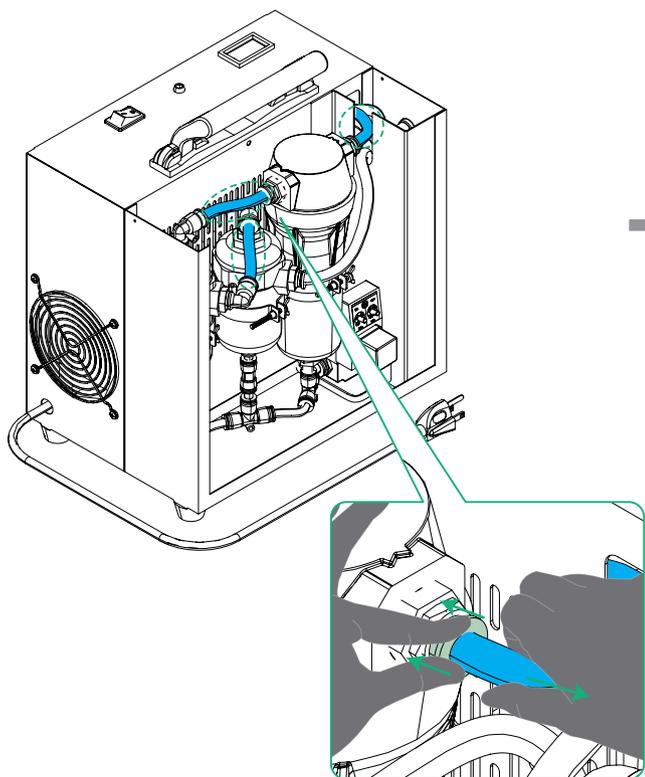
フィルター3 フィルター2 フィルター1



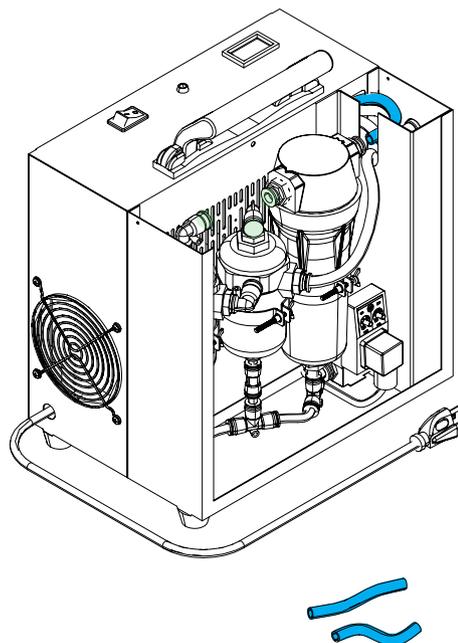
青いチューブのみ取り外し可能です。それ以外のチューブは操作しないでください。

3 チューブを取り外す

フィルターポートからハイライトされたチューブを取り外してください。

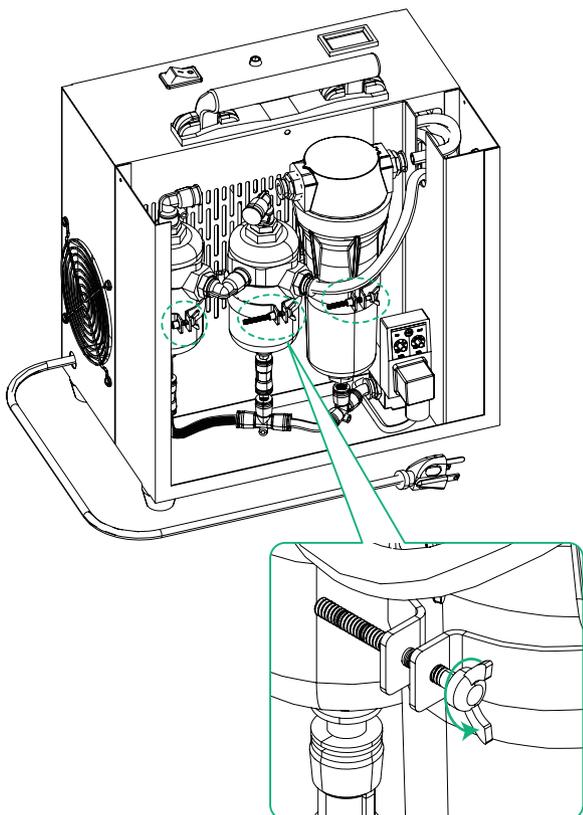


チューブを取り外した後のイメージ

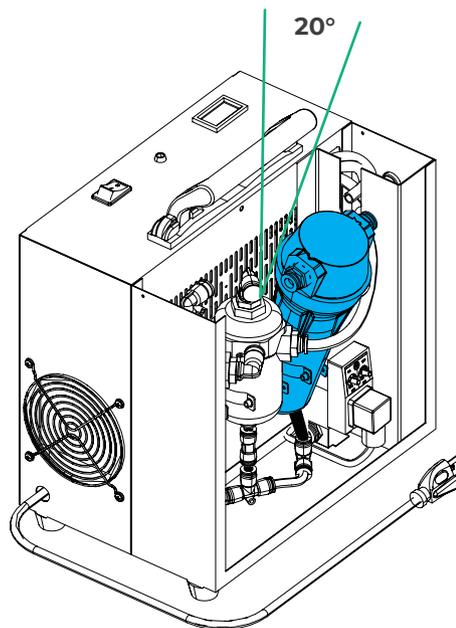


4 フィルターエレメントを取り外す

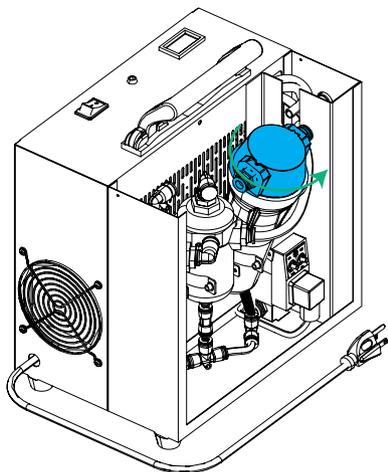
(1) 3つのつまみネジを緩める



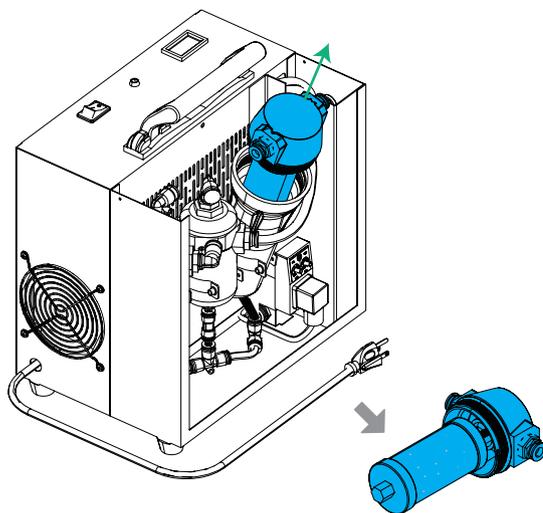
(2) フィルター1の上部を約20°から60°引き出す



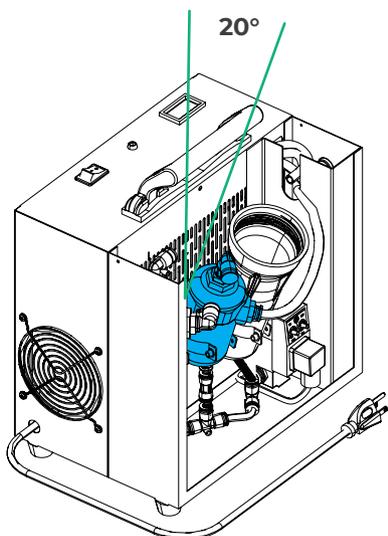
(3) フィルター1のカバーを回して開ける



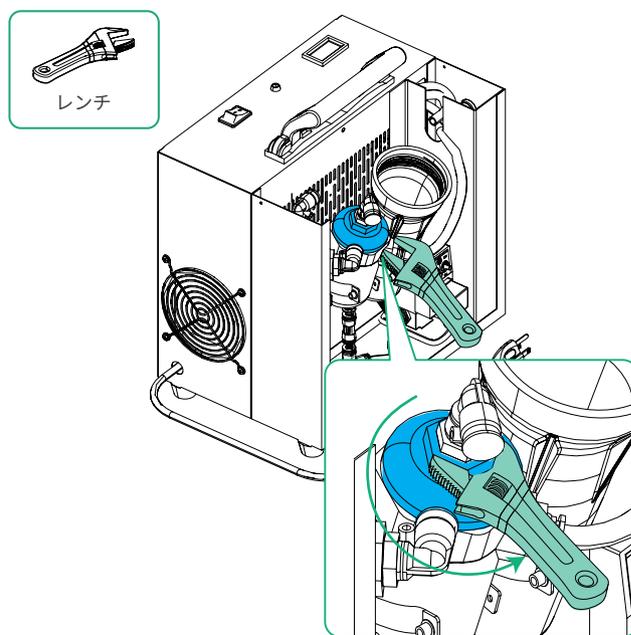
(4) フィルターエレメントを取り出す



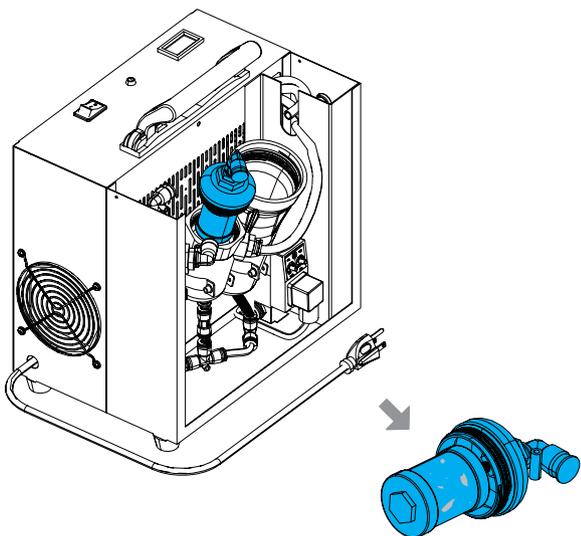
(5) フィルター2の上部を約20°から60°引き出す



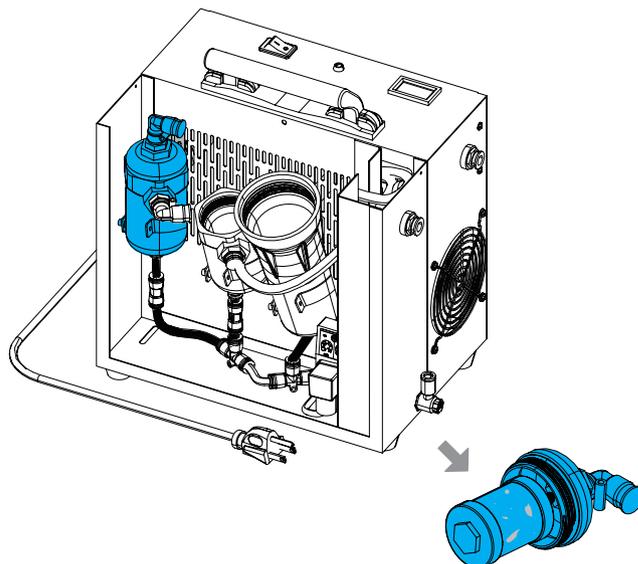
(6) レンチを使ってナットを緩める



(7) フィルターエレメントを取り出す



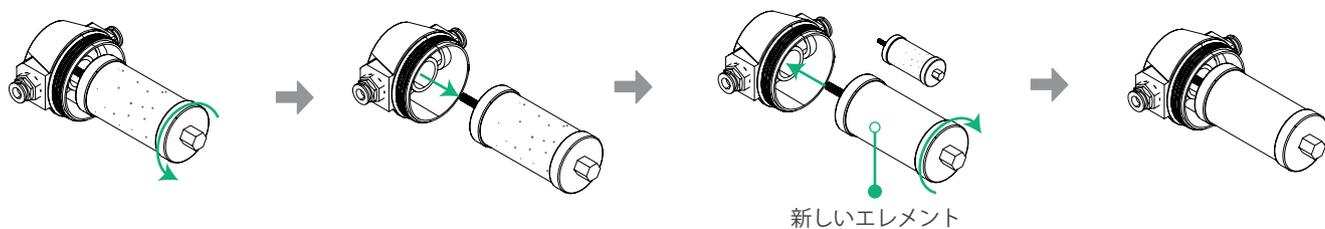
(8) 5~7の手順を繰り返して、フィルターエレメント3を取り出す



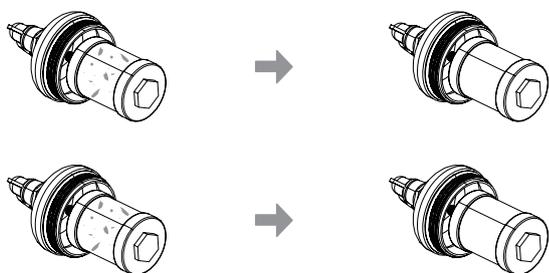
5 フィルターエレメントを交換する



(1) フィルターエレメント1のエレメントを交換する

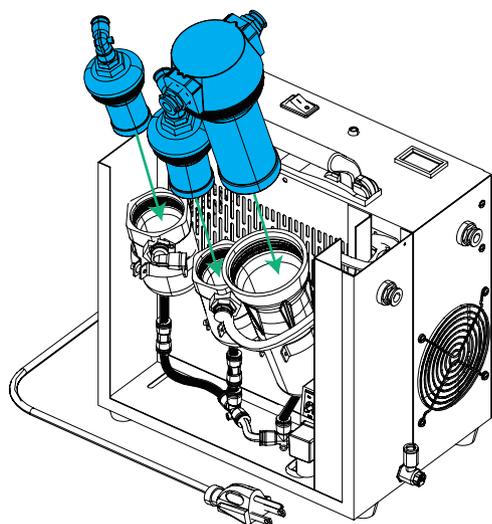


(2) 同様の手順で、残りの2本のフィルターエレメントを交換する

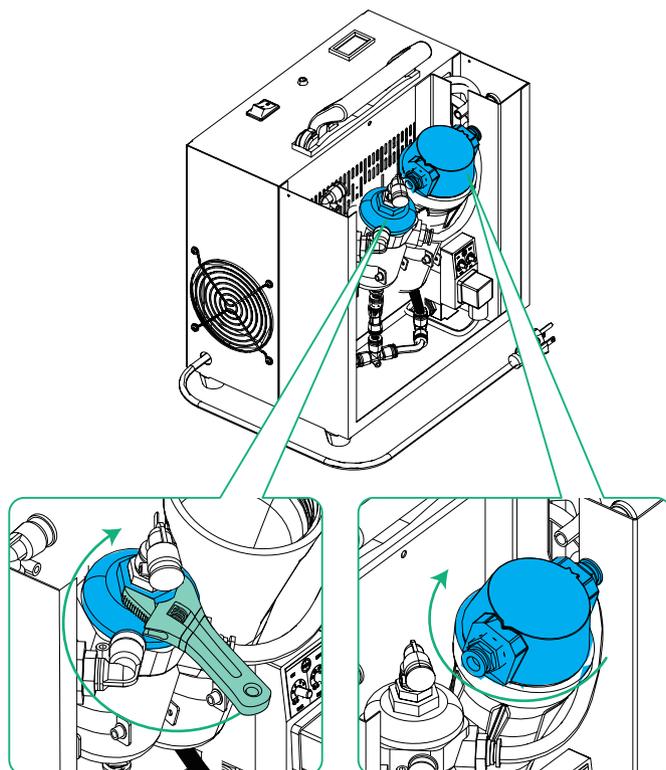


6 フィルターに戻す

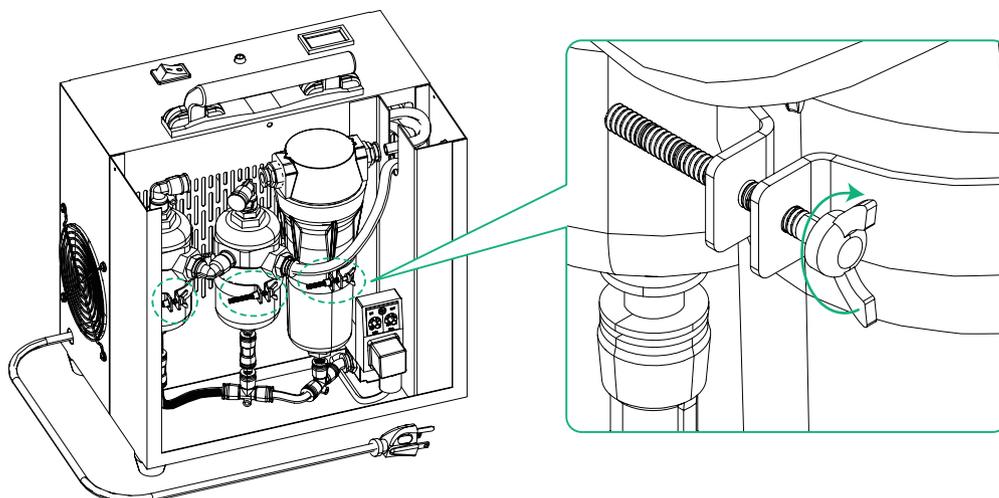
(1) フィルターエレメントをそれぞれのケースに入れる



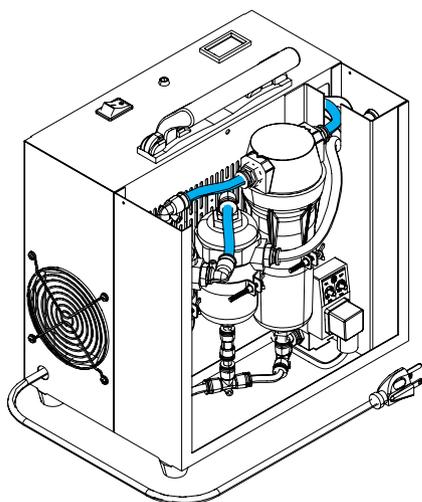
(2) フィルター1のカバーを回して締め、フィルター2と3のカバーはレンチで締める



(3) つまみネジを戻して締める



7 チューブを再接続する



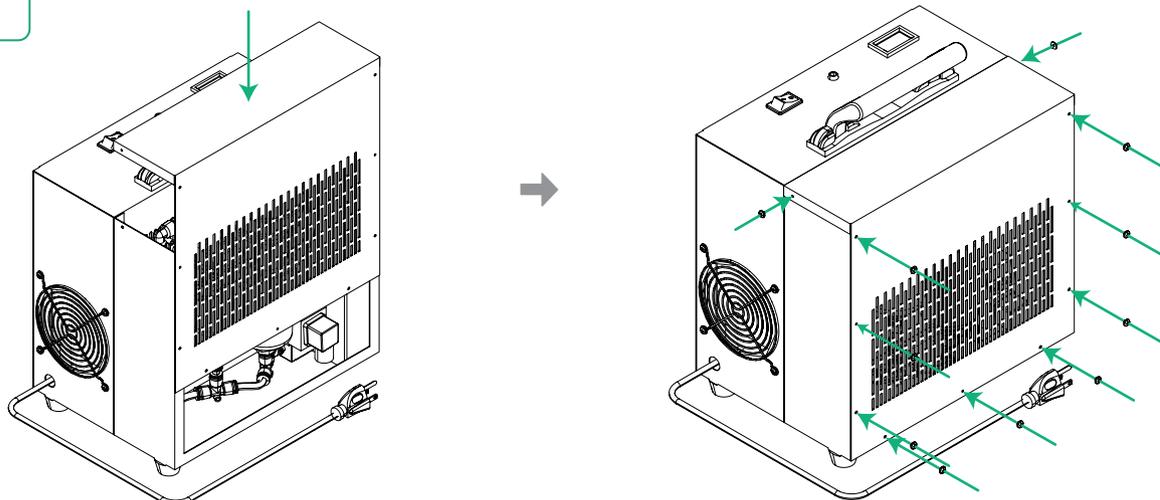
接続を確認する

チューブをエアフローの入口と出口に接続します。次に電源コードを接続し、空気通路が正常に作動しているか確認してください。

8 カバープレートを戻す



ドライバー



よくある質問

1. 空気量と圧力が不足している場合はどうすればいいですか？

エア配管およびチューブの接続状態を確認し、漏れがないかを点検してください。接続部に漏れがある場合は、取り外したネジ部にシールテープを巻き、再度締め付けてください。

xTool MetalFab CNCカッターが接続されており、xToolソフトウェアで空気圧が0.4MPa未満と表示されている場合は、まずエアコンプレッサーが推奨されるFASTモードで1MPaに設定されているかを確認してください。

設定が正しいにもかかわらず圧力が低い場合は、すべてのチューブ接続部の漏れを点検し、コンプレッサーに損傷がないか確認してください。

2. 溶接機に接続されているチューブを短くすることは可能ですか？

おすすりできません。チューブを短くすると水が効果的に凝縮されず、溶接機への気流が乱れる可能性があります。

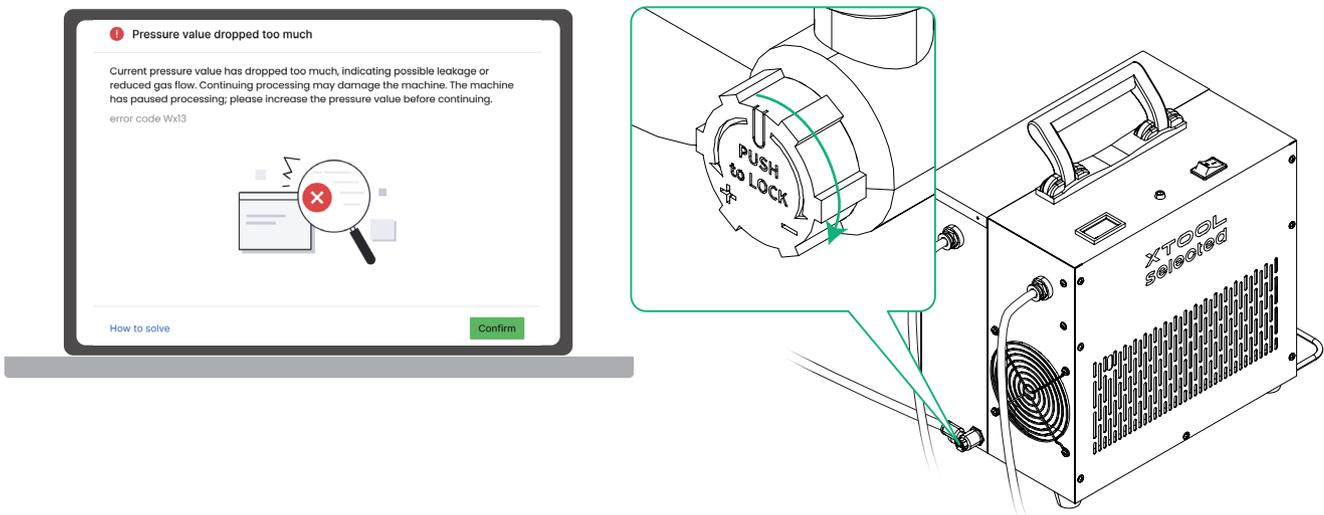
3. 溶接機に接続されているチューブに水が入った場合はどうすればいいですか？

加工硬化が悪く、レンズプロテクターに水滴が付着している場合は、以下の手順で問題を解決してください：

- 1) 溶接機の切断機能の使用を直ちに停止してください。
- 2) エアドライヤーが正常に作動しているか確認してください。
- 3) エアドライヤーを稼働させ、空気の乾燥を続けてください。
- 4) しばらくしてから、溶接機のノズル付近に乾いた段ボールを置いてください。段ボールが乾いたままであれば、エアドライヤーは乾燥した空気を供給しています。
- 5) レンズプロテクターを交換し、加工を再開します。

4. xTool MetalFab CNC Cutterにエアドライヤーを接続した際に低圧アラームが報告されました。どうすればいいですか？

この問題に対処するには、流量バルブのノブを工場出荷時の設定から時計回りに少し回して流量を減らしてください。回しすぎないように注意してください。



5. エアドライヤーの排気口の温度範囲はどのくらいですか？

周囲温度が0°Cから40°C、相対湿度が50%から90%の場合、排気口の空気温度は0°Cから40°Cの範囲内に保たれます。

6. 長時間連続切断(例えば8時間)後にレンズプロテクターに少量の油汚れが付着した場合、どうすればいいですか？

レンズプロテクターには使用寿命があります。油で汚れたレンズプロテクターは金属切断時のスパッタ除去性能に悪影響を及ぼす可能性があります。アルコールを含ませた綿棒や不織布で軽く拭き取り、再使用してください。

XTOOL
selected